

おいしいだ

議会だより

No. 119

2009/1

迎春



新春行事（あったまりランド深堀）

第4回定例会

12/4~8

第4回臨時会

12/25

2P 新年のあいさつ・議案の質疑

3P 請願・意見書・景気対策1199万円を追加

4P 町政を問う（4議員の一般質問）

8P 議会を傍聴して・全国広報研修会報告

発行／山形県大石田町議会

発行責任者／議長 大山 二郎

編集／広報特別委員会・〒999-4112 大石田町緑町一番地

☎0237(35)2111

議会を傍聴して



石山 実さん (上宿)

知人である議員が質問に立つと知り、一度は拝聴してみたいとの思いから傍聴することになりました。議場に入るのは初めてのことで傍聴席には他市から多数の参加者もいて、なにやら引き締まった雰囲気の中で始まりました。

議員と町長とのやり取りを聞かせてもらいましたが、その中身は町民の日常生活に係る問題であり、質問答弁とも真摯なものと感じられました。

これまで、町の問題については、おおよそ認識はしていましたが注目、関心度は低く他人事に近い状態でした。

最近の町の大きな課題としては、合併、中学校の問題であったと思いますが、その経過にはほと

んど無関心で、なるようになれておりました。

議会を見るのは、テレビ放送の国会中継で厳しいやり取りを熱く注視し、その経過を見守ることは多いのですが、身近な町の課題にも目を向けることは必要なことであるはずですが、今後また持ち上がるかもしれない合併問題、その時は座談会、集会等には積極的に参加し、他人まかせにしない態度での思いを強くしました。

ただ残念に思うことは町当局に対する議員席側は、議長を除くとたった9人だけで空席が目立つのは寂しい限りです。

それでも難題が持ち上がったとき、大激論を展開して、その結果良い結論を得られるよう期待します。このような時は、また傍聴してみたいものです。

目からウロコ

『表紙の写真はナイスショット』『一般質問の記事と紙面、レイアウトは上出来』『議決結果は全会一致か、賛成多数なのか、更に重要議案については賛否の議員名も明記すべき』等冒頭からビシビシ厳しい指摘を受けた全国町村議会広報研修会。

10月27日〜28日に東京で行われ全国から集まった200人を超える町村議員と一緒に我が町の5人の編集委員も参加しました。



全国広報研修会に参加して

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は

3月6日(金)～13日(金)の予定です。

傍聴は気軽においでください。

お問い合わせ先 大石田町議会事務局
TEL. 35-2111 内線312 FAX. 35-2118

今回初めてクリニックを受けるため『おいしいだ議会だより』を提出しました。自ら山梨県身延町議を6期つとめ、そのほとんどを編集委員長として活躍した広報コンサルタント深沢徹先生から厳しい指摘や合格点のところが適格なアドバイスをいただきました。

一般質問以外の発言にも議員名を明記したのも数年前「議員は公人、支持した議員は賛成したのか、反対したのか、どんな発言、質問をしたのか、町民はいつも注目してい

る。それには議会報しかこたえられない」との先生の講演からいち早く「おいしいだ議会だより」に採用したものでした。

さらに、全国から寄せられた「議会だより」のクリニックを聞き「目からウロコ」のところも多く、紙面づくりへの課題も指摘され、今後一層町民から求められる議会だよりをめざすうえで大きな収穫があった広報研修でした。

(記 小林)

編集後記

新年を迎え元気にお過ごしのことと思います。昨年よりの金融危機、不況、雇用の打ち切りなど私達の生活には大変厳しい状況が続いています。国の政策も基本的な方向性が定まらず右往左往しているようだ。しかしながら私達住民は、なんとしてもこの逆境を乗り越え生活を維持していかなければならない。政治の混乱に付き合っている余裕はないのだ。

年末に解雇になった人達はこの寒空の中どうしているのだろうか。決して対岸の火事というわけではない。早く夜明けが来ることを願うばかりです。

(記 小玉)

■ 広報特別委員会 ■
委員長 芳賀 清
副委員長 小林 征雄
委員 小玉 勇
委員 村岡 藤弥
委員 齋藤 公一